

# 浜田圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

| NO   | プロジェクト                   | 全体評価(総括・検証)  | 成果指標と達成率                     |       |       |                    | 達成状況 |      |
|------|--------------------------|--|------------------------------|-------|-------|--------------------|------|------|
|      |                          |  | 項目名                          | H24目標 | H24実績 | 単位                 |      | 達成率  |
| 浜田-1 | 浜田版林業ビジネスモデル構築プロジェクト     | <ul style="list-style-type: none"> <li>森林境界の明確化作業により詳細な森林情報の把握が進み森林経営計画が作成されつつある。</li> <li>モデル団地からの合板工場への直送を実施した。直送する場合の立地・作業条件の検討が必要</li> <li>モデル団地における利用間伐は十分な路網整備がなされており、車両系従来型システム(チェーンソー→グラブ→プロセッサ→フォワーダ)においても生産性が向上できることが確認できた。</li> <li>県の森林施業プランナー研修に2名の参加があり、車両、機械等の技術研修に多数の新規、中堅オペレーターの参加があった。プランナー研修終了者は森林所有者への提案型集約化施業プランや森林経営計画の作成者として期待され、オペレーター研修終了者には技能の向上が期待される。</li> </ul>   | 木材生産団地(森林経営計画)からのスギ、ヒノキ木材生産量 | 6,000 | 6,982 | m <sup>3</sup>     | 116% | 達成   |
|      |                          |  | モデル団地における利用間伐の労働生産性          | 4.0   | 4.4   | m <sup>3</sup> /人日 | 110% | 達成   |
|      |                          |  | 森林施業プランナー(累計)                | 2     | 3     | 人                  | 150% | 達成   |
| 浜田-2 | 浜田地域産材の加工体制強化と需要拡大プロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> <li>浜田市、江津市において公共建築物への地域材納入については、具体的物件への地域材利用の協議を開始した。また、地域材認証制度の検討に着手した。</li> <li>民間住宅においては、一般住宅向けのスギ床材を開発、4棟での採用につながり、施主への選択肢の1つとして確立した。</li> <li>今後一層の地域材利用に向け、製材用原木確保、JAS、乾燥機の導入といった課題に取り組む必要がある。</li> </ul>  | 木材協会浜田支部製材製品生産量(地域材)         | 1,260 | 1,041 | m <sup>3</sup>     | 83%  | 概ね達成 |
|      |                          |  | 木材流通センター原木取扱量                | 7,900 | 8,464 | m <sup>3</sup>     | 107% | 達成   |
| 浜田-3 | 原木乾しいたけの生産振興プロジェクト       | <ul style="list-style-type: none"> <li>原木供給本数19500本確保できたが、VTによる地元産原木の供給本数が確保できなかったことにより石州造林、九州から原木調達を行った。今後の原木確保に向けて、1.29haのクスギ原木造成の取り組みを実施予定。今後は、地元産供給体制の具体的な検討及び原木造成を継続して行う必要がある。また、原木供給本数の確保が、今年度の生産量に結びつかないため、目標数値の達成は困難な状況である。</li> <li>労務軽減化対策として、H25年度人工ほだ場の設置(旭町1棟、弥栄町1棟)に向けて、利用方法等の仕組み作り及び設置場所・規模等を決定したことにより設置が具体化できた。今後は、人工ほだ場の設置を行い、品質、収量、収益等の検証を行う必要がある。</li> <li>新規参入者1名、後継者7名及び新規参入候補者30名の把握ができた。各対象者に合せた育成指導及び新規参入者増加に向けた取組を行う必要がある。</li> <li>品質向上と有利販売については、各種研修会等を実施し生産技術の向上が図られた。また、有利販売の講演会により販売の重要性を認識してもらえた。効果的な研修内容の実施及び有利販売に向けた取組が必要である。</li> </ul> | 乾しいたけの生産量                    | 8.2   | 6.2   | t                  | 76%  | 未達成  |
|      |                          |  | 乾しいたけの生産者数                   | 85    | 80    | 人                  | 94%  | 概ね達成 |